

# ALLwatch Tips

2015年8月号  
オムロンソフトウェア株式会社

バックナンバーは M2M センサネットへのログイン後に「取扱説明書」ボタンで表示する画面から参照ください。

「ALLwatch」は弊社が提供するモニタサービスの総称です。

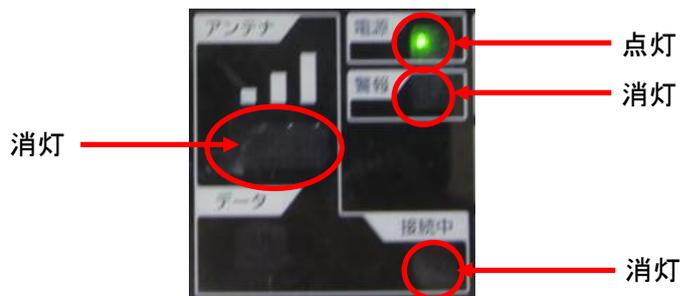
## フリーズした監視装置のリセット手順

本号では、フリーズ状態の監視装置のリセット手順を紹介します。

何らかの原因で、監視装置本体がフリーズしてしまうと、監視装置はM2Mセンターと通信ができなくなってしまいます。

FOMA通信の切断が頻繁に起きたり、電源FG用端子に電源アースを接続していない監視装置は、フリーズ状態を起こしやすい傾向があるようです。

監視装置がフリーズすると、監視装置前面のランプの点灯は、電源ランプ（緑色）のみの点灯となり（下図）、テストSWを押下しても、監視装置の入カランプは反応しません。



監視装置やFOMA通信モジュールのフリーズ状態は、監視装置をリセットすることで回復することがあります。

以下は、監視装置のリセット手順です。

### 【監視装置のリセット手順】

- ① AC電源供給の停止
- ② 停電通報用バックアップ電池の取り外し  
AC電源の供給を停止しても、バックアップ用電池がついたままですと、電池から監視装置へ電源供給されたままになりますので、リセットがされません。
- ③ 停電通報用バックアップ電池の取り外し後、2～3分まつ  
バックアップ用電池を取り外しても、基板上のコンデンサの放電がすまないと、監視装置のRAM情報がクリアされず、端末がリセットされません。
- ④ 停電通報用バックアップ電池の取り付け
- ⑤ AC電源の供給  
監視装置の電源供給後に1～2分程度経過で、アンテナランプが点灯し、続いて接続中ランプが点滅後に連続点灯となれば、動作は回復しています。
- ⑥ テストSWを押してメールが受け取れることをご確認ください。

監視装置のリセットを実施しても、通信が回復しない場合は、監視装置本体のどこかが故障していると思われます。